

平成 26 年度

事業報告書

決算報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

一般社団法人日本オーディオ協会

平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル（以下オーディオ等）に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・出版物の販売等、協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。特に CD 登場から 32 年振りの次世代オーディオと言うべき「ハイレゾ・オーディオ」を“日本発・世界初”で発信し、協会設立の理念である「良い音を、良い環境で」を基本方針に普及・啓発活動を推進致しました。主たる事業は定款 第 4 条各号に沿った通りであります。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

ヘッドホン試聴環境改善委員会開催／ネットワークオーディオ委員会開催／BD-M 研究会テーマ

(第 2 号) オーディオ等に関する普及及び啓発

「ハイレゾ・オーディオ」普及へ取り組み／「音の日」記念行事实施／デジタルホームシアター (DHT) 普及委員会開催／録音機器・技術普及委員会でのテーマ実施／音のサロン委員会開催／オーディオ・ホームシアター展主催実施

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

ハイレゾ基準音源の作成／アナログテストディスク AD-1 の再発売

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

JAS ジャーナル誌の発行とホームページによる情報提供／協会運営ホームページの閲覧最適化実施／国内オーディオ業界出荷統計集計と情報提供／オーディオ・ホームシアター展来場者分析

(第 5 号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

オーディオ・ホームシアター展の主催開催

(第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座 (DHT 認定講座) の実施

(第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

日本プロ音楽録音賞の共催／他団体開催行事への後援・協賛参加

(第 8 号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け CD、DVD-Video 等販売

平成 26 年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第 4 条第 1 号）

1.1. ヘッドホン試聴環境改善委員会（中西 康之委員長、松岡文啓委員長代行ほか 6 名）

➤ 委員会開催経緯（1 回開催）

◇ 7 月 4 日

➤ 活動内容：

◇ 前年度からの継続課題「ヘッドホン使用における頭内定位問題の検討及び技術的検証」

◇ 1 次実験を定性的データ収集のための東京藝術大学にて 7 月 31 日実施

◇ 2 次実験と実験結果の集計、考察を引き続き平成 27 年度受託研究として行う

◇ 主要活動結果：

① 受託研究（1 次実験）：

・ 依頼先：東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授 亀川 徹氏

・ 内容：スピーカー再生とヘッドホン再生の違いの確認と改善提案の為の実験

・ 実施日：7 月 31 日

② JAS ジャーナルへの寄稿：

・ 5 月号：AES ベルリン コンベンション報告・ワークショップ「ヘッドホンのための音をどうやって作成するか？」（筆者：東京藝大 亀川教授）

1.2. ネットワークオーディオ委員会（鈴木 信司主査ほか 13 名）

➤ これまでのネットワークオーディオ技術 WG をネットワークオーディオ委員会へと改組

➤ JEITA ネットワークオーディオ専門委員会と相互協調活動

➤ 委員会開催経緯（12 回開催）

◇ 4 月 23 日、5 月 29 日、6 月 27 日、7 月 30 日、8 月 29 日、9 月 25 日、10 月 27 日、11 月 26 日、12 月 15 日、1 月 29 日、2 月 20 日、3 月 24 日

➤ 活動内容：

◇ オーディオ・ホームシアター展で協会テーマ「ネットワークオーディオ」コーナーを企画運営しユーザー啓発を行った。

・ ハード機器メーカー出展社数：14 社、40 機種展示／配信事業者数：3 社

◇ 前年度開始した HP「ネットワークオーディオ」サイトで「ネットワークオーディオ導入ガイド」を新設し特に初心者向けに普及啓発に努めた。

1.3. BD-M 研究会

➤ オーディオ・ホームシアター展で Blu-ray Disc Association とのコラボにより高音質音楽パッケージメディアとしての Blu-ray Disc をジャケット面展示で紹介

➤ オーディオ・ホームシアター展で Blu-ray Disc Audio Promotion Group が高音質試聴デモでユーザー啓発を行う

2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第4条第2号）

2.1. 「ハイレゾ・オーディオ」普及への取り組み

- ハイレゾリユーション推進等技術会議（ステコミ及び理事会）（校条会長ほか15名）
- ✧ ハイレゾロゴ使用関係の懸案（問合せ確認、ハイレゾ定義、ロゴ運用規定、海外展開、ソフトへの使用、等）を議論する為に開催しハイレゾ・オーディオの健全な普及に努めた。
- 会議開催経緯（9回開催）
- ✧ 7月7日、5月29日、8月19日、9月10日、11月11日、12月5日、1月19日、2月4日、3月25日
- 活動内容
- ✧ 「ハイレゾリユーション・オーディオ（サウンド）の取り組み」記者発表
 - ・開催日：6月12日
 - ・場所：日本オーディオ協会 大会議室
 - ・参加者：媒体関係者約20名
 - ・概要：ハイレゾロゴの発表と規定内容等の説明および質疑応答
- ✧ ハイレゾロゴ使用申請法人の承認：協会法人会員56社中23社（平成27年3月末時点）
- ✧ カテゴリーの承認：AV機器に加えスマホ・タブレット、オーディオ用PCを認定
- ✧ 米国家電協会（CEA）とパートナーシップ契約締結。ロゴ使用拡大。（12月18日）
- ✧ 音楽ソフトへのロゴ使用の展開
 - 今後の活動テーマとしてネットワークオーディオ委員会内に定義、技術検討WG設置。

2.2. 「音の日」記念行事（「音の日」実行委員会 森 芳久委員長 ほか9名）

- 「音の日」実行委員会開催経緯（7回開催）：
 - ✧ 4月21日、5月26日、6月23日、7月28日、8月26日、10月1日、31日
- 活動内容：
 - ✧ 第19回「音の匠」の選出、及び「音の日」イベントの企画運営を行った。
 - ✧ 第19回「音の匠」顕彰式、及び「音の日」イベント：
 - ・12月5日（金）目黒雅叙園 ペガサスの間 参加80名
 - ・「音の匠」として顕彰「イルカの生息域に依存する鳴き音の違い」等イルカの研究の第一人者である、東海大学創造科学技術研究機構・特任講師・理学博士 森阪 匡通^{ただみち}氏。
 - ・「音の日」イベント「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」受賞作品発表と表彰
AES 日本学生支部と共催。趣旨は①若人へ「音に対する造詣を深める」機会提供 ②若人を通じたオーディオ活性化。国内主要大学・専門学校に呼びかけ、全17作品の応募。受賞作品は下記：
最優秀賞：（尚美学園大）蒙昕晨^{もう きんしん} / 音楽賞：（名古屋芸大）松永麻耶
企画賞：（東京藝大）鈴木勝貴 / 録音賞：（日本工学院）笹川景太
- ✧ 「音の日のつどい」パーティ：
 - ・12月5日（金）目黒雅叙園 シリウスの間 参加200名
 - ・音の匠と日本プロ音楽録音賞受賞者を祝い交流パーティ実施。日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN の共催。

2.3. デジタルホームシアター (DHT) 普及委員会 (鈴木 弘明 委員長ほか 14 名)

- 委員会開催経緯 (9 回開催)
 - ◇ 4 月 24 日、6 月 9 日、7 月 10 日、8 月 21 日、9 月 25 日、10 月 30 日、12 月 16 日、2 月 5 日、3 月 13 日
- 主要活動内容
 - ◇ 平成 26 年度の「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座 (DHT 認定講座) を設定したが、応募者が少なく開講に至らなかった。
代替として認定講座のエッセンスを抽出した RTI(ルームチューニング・インストラクター) 養成講座を企画。7 月 23・24 日に 7 名の受講者を迎え実施。
 - ◇ デジタル・ホームシアター・サウンド HP の運用とメンテナンス
月刊アクセス数は 20000 以上を常にキープする協会運営の中で最も人気を保つ HP

2.4. 録音機器・技術普及委員会

- ユーザーへより良い録音物 (音楽ファイル) を提供することを目的に、前年度同様プロジェクトを組みオーディオ・ホームシアター展で演奏実演録音を実行した。編集後の音源を検証した結果配布に適さなかった為ユーザーへの提供は見合わせた。

2.5. オーディオ・ホームシアター展 (10 月 17～19 日) における協会主催イベント

- 工作教室 : 18 日開催
 - ☆高級イヤホン組み立て教室 : 第 1 回 10 : 30 / 第 2 回 12 : 00 41 名参加
 - ☆小型ラジオ組立教室 : 第 1 回 14 : 00 / 第 2 回 15 : 30 16 名参加
- 「音のサロン」試聴会 : 17・18・19 日開催 (協会「音のサロン委員会」企画)
 - ◇ 「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しんで頂くライフスタイルの普及」800 名参加
 - ◇ 11 プログラム 17 回の内容は下記の通り :
 - ① ハイRez対応の DAC 比較試聴会 (パート 1・2・3)・講師 : 会員企業
 - ② ハイRez音楽配信を聴く (パート 1)・講師 : HQM STORE
 - ③ ハイRez音楽配信を聴く (パート 2)・講師 : e-onkyo music、日本コロムビア
 - ④ BD audio でハイRezを聴く Part1・講師 : キングインター/ハピネット
 - ⑤ BD audio でハイRezを聴く Part2・講師 : カメラータトウキョウ/ナクソスジャパン
 - ⑥ 最新アンプ比較試聴会 (パート 1・2・3)・講師 : 会員企業
 - ⑦ 最新スピーカー比較試聴会 (パート 1・2・3)・講師 : 会員企業
 - ⑧ SP レコードに残されたモーツァルトの名演を真空管アンプで聴く・講師 : 真空管オーディオ協議会/新 忠篤氏
 - ⑨ JAZZ オーディオの魅力を探る・講師 : 寺島靖国氏、林 正儀氏
 - ⑩ 価格帯別コンポの魅力を探る・講師 : 麻倉怜士氏

2.6. 音のサロン委員会（高松 重治委員長 ほか 13 名）

➤ 委員会開催経緯（10 回開催）

◇ 4 月 15 日、5 月 23 日、6 月 19 日、7 月 25 日、8 月 19 日、9 月 30 日、10 月 28 日、12 月 18 日、1 月 28 日、2 月 20 日（ネットワークオーディオ委員会との合同開催）

➤ 主要活動内容

◇ 「日比谷音のサロン」試聴会（1 回開催）会場：「日比谷図書館」

・日比谷図書館、日本レコード協会、日本オーディオ協会の共催

・6 月 11 日「今、うわさの高音質ハイレゾ音楽を楽しもう！」講師：角田郁雄氏

◇ 「山野楽器(銀座本店)、タワーレコード(渋谷店)音のサロン」試聴会(3 回開催)

・山野楽器、タワーレコード、日本レコード協会と日本オーディオ協会との共催

・9 月 4 日「音のサロン in 山野楽器一音で振り返る昭和の東京」講師：泉麻人氏

・12 月 15 日：「音のサロン in タワーレコードー2014 年の音楽シーン総まとめ！」
講師：大谷ノブ彦氏

・3 月 20 日：「音のサロン in 山野楽器ーハイレゾを Blu-ray disc audio で楽しむ講座」
講師：麻倉怜士氏

◇ 「オーディオ・ホームシアター展ー音のサロン」を協会主催として試聴会を実施

◇ 「ハイレゾ音源の楽しみ方講座」（4 回開催）

・PC オーディオ、ハイレゾ音源の普及啓発の為に技術面、使用面の課題解説とデモ

・5 月 24 日、7 月 26 日、10 月 13 日（真空管オーディオフェアへ協賛出展）、3 月 1 日

3. オーディオ等に関する基準の作成（定款第 4 条第 3 号）

➤ ハイレゾ基準音源の作成：ハイレゾ・オーディオのガイドラインの設定、CD-1 に続くテストディスクの開発に関して議論したが、平成 27 年度の課題として検討を継続することとした。

➤ アナログテストディスク AD-1 の再発売：昨今のアナログレコードの関心の拡大から、日本コロムビアに現存していた金属原版を使用し、アナログテストディスク AD-1 を、レコード針メーカー「日本精機宝石工業」、音響試験機メーカー「エタニ電機」の協力を得て再発売した。

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供（定款第 4 条第 4 号）

4.1. 会誌「JAS ジャーナル」の発行とホームページによる情報提供

➤ 編集委員会開催経緯（6 回開催）（君塚 雅憲委員長ほか 9 名）

◇ 5 月 19 日、7 月 25 日、9 月 16 日、11 月 21 日、1 月 16 日、3 月 13 日

➤ JAS ジャーナルの主なテーマと記事数：

◇ 5 月号 5 月 29 日発行：マイクロホン特集ほか合計 10 件（全 41 頁）

◇ 7 月号 7 月 31 日発行：アンプデバイス特集ほか合計 9 件（全 56 頁）

◇ 9 月号 10 月 3 日発行：ポータブルデジタルレコーダー特集ほか 11 件（全 67 頁）

◇ 11 月号 12 月 4 日発行：オーディオ・ホームシアター展 2014 特集ほか 9 件（全 46 頁）

◇ 1 月号 1 月 30 日発行：2014 年音の日特集ほか合計 8 件（全 47 頁）

◇ 3 月号 4 月 2 日発行：カーオーディオ特集ほか 9 件（全 58 頁）

4.2. 協会ホームページでの情報提供

- ▶ ショールームや店頭で各社が実施する試聴会情報を個別紹介（169件）
- ▶ ハイレゾ、CD、スーパーオーディオ CD 等市販ソフトを試聴し高音質作品を紹介（8作品）

4.3. 協会運営ホームページの検索最適化

- ▶ サーチエンジン対策の向上と訪問者（閲覧者）へのサービス向上が目的。
- ▶ 協会が運用する5つのHP「協会ホーム」「ホームシアターサウンド」「ネットワークオーディオ」「オーディオ・ホームシアター展」「デジタルホームシアター教室」で横並一斉着手。
- ▶ 独立したURL（アドレス）を持つ5つにデザインの一体感と共通検索ボタンを持たせる。

4.4. 国内オーディオ業界出荷統計

- ▶ JEITA 出荷統計及び協会法人会員からの出荷情報を集計し、平成26年暦年のオーディオ業界出荷統計として法人会員向けに情報提供を行った。

4.5. 「オーディオ・ホームシアター展」来場者分析

- ▶ 「オーディオ・ホームシアター展」顧客動向分析データを集計し法人会員に情報提供

◇ 調査対象者及び人数

- ・ 事前登録者 : 有効データ 2,700人
- ・ 来場者登録者 : 有効データ 1,903人
- ・ 出口調査 : 有効データ 290人

◇ 調査項目

- ・ 来場者基礎調査 : エリア別来場者構成比
: 東京都区部来場者構成比
: 関東近県来場者構成比
: 性別・年代別来場者構成比
: 来場回数推移・構成比
: 初回来場者推移・構成比
: 年代別2回来場者推移・構成比
- ・ 来場者展示会親和度調査 : 開催情報取得源推移比較
: 興味あるテーマ構成比
: 興味あるテーマ年代別構成比
: 興味あるイベント別構成比

～出口調査～

- ・ 来場者展示会親和度調査 : 来場同行者
: 他展示会関心度
- ・ オーディオマーケット調査 : 興味を持ったアイテム
: 興味を持った技術
: 購入希望アイテム
- ・ 展示会催事意識調査 : イベントへの関心度

5. オーディオ等に関する展示会の開催（定款第4条第5号）

5.1. オーディオ・ホームシアター展（音展）の開催

- 10月17～19日の3日間、東京都江東区（お台場）の「TIME 24」1、2、3、18階の4フロアを使用し「オーディオ・ホームシアター展」を開催。前年度と同会場だが、個室ブース増強のため3階の7室を追加使用、試聴デモが自由に行えるブースを提供。92社/団体と近年最大の参加数でオーディオ等の最新情報と機器展示を行った。
- 協会主催イベントとして「基調講演会」「ハイレゾ最新事情セミナー」「音のサロン」「ライブコンサート」「工作教室」等に加え「NHKスーパーハイビジョン・デモンストレーション」を開催。また、初日夜には参加企業と関連団体参加で「懇親会」を開催し約100名が参加。
- 協会主催展示ブースとして、『「ネットワークで楽しむ、ハイレゾワールド」の展開』をテーマに「ハイレゾの定義」「ハイレゾ商品の展示」「ハイレゾ機器のユースケース紹介」など、「ハイレゾ・オーディオ」再生機器の、家庭での試聴環境をイメージできるブースを展開した。
- 「オーディオ・ホームシアター展」出展社及び来場者
 - ☆出展社：92社/団体、協賛・協力社数：24社/団体、来場者数：20,200人
- 実行委員会及び関連説明会は下記の通り開催：
 - ☆実行委員会開催経緯 ※実行委員会 中川 克也委員長 ほか 12名
 - ：（平成26年）1月21日、2月25日、3月24日、5月14日
 - 7月15日、10月8日、11月14日（計7回開催）
 - ☆出展社募集説明会 ：（平成26年）3月27日 45社 54名出席
 - ☆展示装飾説明会 ：7月22日 26社 32名出席
 - ☆記者発表会 ：7月22日 16社 16名出席
- ホームページ運用開始：4月13日

6. オーディオ等に関する人材の育成（定款第4条第6号）

6.1. 「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座（DHT認定講座）の実施

- 平成22年9月の講座開始から平成26年3月の14回目の講座にて延べ122名の資格認定者。
- 平成26年度は受講生の応募が少なく各コースとも開講が出来なかった。講座の中でも人気の音響講座「調音」に的を絞り、ルームチューニングインストラクター養成のための「RTI養成講座」を企画。7月23・24日受講者7名で実施した。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第4条第7号）

7.1. 日本プロ音楽録音賞の共催

- 第21回日本プロ音楽録音賞を日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本レコード協会、演奏家権利処理合同機構 MPN 共催にて実施した。99作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀賞7作品、優秀賞8作品、ベストパフォーマー賞1作品、新人賞2作品の受賞者を12月5日に開催した「音の日」記念イベント（目黒雅叙園）にて表彰した。
- 受賞作品
- ☆ 部門A「2ch パッケージメディア」クラシック 応募総数 11作品

- ・ 最優秀賞
 - 作品「SHIRO'S SONGBOOK 'Xpressions」より「Love Overcome」鷺巣 詩郎
 - (株) ヤマハミュージックアンドビジュアルズより発売 CD
 - メインミキシング・エンジニア：内沼 映二 (株) ミキサーズラボ
 - ミキシング・エンジニア：鷺巣 詩郎
 - マスタリング・エンジニア：バーニーグランドマン

- ・ 優秀賞
 - 作品「吹奏楽傑選/フェスティヴァーヴォ！」より「ネリベル：2つの交響的断章II-アレグロ・インペトゥオーゾ」東京佼成 Wind Orch 指揮：ヴァーツラフ・ブラフネク
 - 日本コロムビア (株) より発売 CD
 - マスタリング・エンジニア：毛利 篤 日本コロムビア (株)
 - ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア (株)

☆ 部門B 「2ch パッケージメディア」ジャズ・フュージョン 応募総数8作品

- ・ 最優秀賞
 - 作品「むーきーmooki~The Best and more~」より「Something Something」Minako “mooki” Obata
 - (株) JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメントより発売 CD
 - ミキシング・エンジニア：今関 邦裕 フリーランス
 - マスタリング・エンジニア：袴田 剛史 FLAIR MASTERING WORKS
 - アシスタント・エンジニア：井澤 溪 (有) アルデバラン

- ・ 優秀賞
 - 作品「Spinning Globe Kazumi Watanabe featuring Jeff Berlin & Virgil Donati」より「Spinning Globe」
 - (株) ワーナーミュージック・ジャパンより発売 CD
 - ミキシング&マスタリング・エンジニア：鈴木 浩二 (株) ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 - レコーディング・エンジニア：中村 昭子 フリーランス
 - アシスタント・エンジニア：春 雅之 (株) ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

☆ 部門C 「2ch パッケージメディア」ポップス、歌謡曲 応募総数 26作品

- ・ 最優秀賞
 - 作品「青春ラブレター~30周年 記念 ベスト30th Celebration Best~」より「Ocean Side」菊池 桃子
 - Sony Music Labels Inc.より発売 CD
 - ミキシング・エンジニア：村上 宣之
 - マスタリング・エンジニア：酒井 秀和
 - アシスタント・エンジニア：春 雅之
 - 以上3名 (株) ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

- ・ 優秀賞
 - 作品「はじめての海」より「わらびかみ童神」上間 綾乃
 - 日本コロムビア(株)より発売 CD
 - ミキシング・エンジニア：三浦 瑞生 (株)ミキサーズラボ

- マスタリング・エンジニア：松永 健司 (株)ミキサーズラボ
- ・ 優秀賞
 - 作品 「無頼豊饒」より「地獄の料理人」 人間椅子
 - (株)徳間ジャパンコミュニケーションズより発売 CD
 - マスタリング・エンジニア：菊地 功 (株)ミキサーズラボ
 - ミキシング・エンジニア：内藤 “Teru” 輝和 BAZOOKA STUDIO
- ☆ 部門D 「2ch ノンパッケージ」 応募総数 24 作品
 - ・ 最優秀賞
 - 作品 「飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラコンサート 2013」より「プロコフィエフ：交響曲第1番 古典交響曲ニ長調 作品 25 第一楽章 Allegro」飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ
 - 発売元：(株)シンタックスジャパン フォーマット：96/24
 - ミキシング&マスタリング・エンジニア：長江 和哉 名古屋芸術大学
 - アシスタント・エンジニア：島田 裕文 (株)名古屋テレビ映像
 - アシスタント・エンジニア：竹内 耕平 フリーランス
 - ・ 優秀賞
 - 作品 「Horizon」より「Rite of Harmony」 吉田兄弟
 - 発売元：(株)ソニー・ミュージックダイレクト フォーマット：96/24
 - ミキシング・エンジニア：山内 “Dr.” 隆義 gogomix@
 - マスタリング・エンジニア：酒井 秀和 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 - アシスタント・エンジニア：赤井 聡史 (株)サウンドインスタジオ
 - アシスタント・エンジニア：春 雅之 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- ☆ 部門E 「サラウンドサウンド」 応募総数 10 作品
 - ・ 最優秀賞
 - 作品 「レスピーギ：ローマ三部作[祭/噴水/松]」より「レスピーギ：交響曲《ローマの祭》I-チルチェンセス」アンドレア・パッティストーニ指揮 東京フィル
 - 日本コロムビア(株)より発売 SACD マルチ ch
 - マスタリング・エンジニア：毛利 篤 日本コロムビア (株)
 - ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア (株)
 - ・ 優秀賞
 - 作品「サン=サーンス交響曲第3番ハ短調 Op. 78「オルガン付き」より「第一楽章-Poco adagio」指揮/飯森 範親 オルガン/山本真希、東響
 - りゅーとびあ新潟市芸術文化振興財団より発売 SACD マルチ ch
 - ミキシング・エンジニア：下山 幸一 一般財団法人NHK放送研修センター
 - マスタリング・エンジニア：石井 亘 (株)音響ハウス
 - アシスタント・エンジニア：金子 敏文 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
 - アシスタント・エンジニア：佐藤 哲郎 新潟照明技研 (株)
- ☆ 部門F 「放送メディア」放送作品部門 応募総数 14 作品
 - 「2ch ステレオ」

・ 最優秀賞

作品 「ハンサム JAZZ LIVE MASTERS」より「愛のテーマ」 Yuji Ohno & Lupintic Five るぼんでいっく

- 日本放送協会 FM stereo 2013年9月5日放送
- ミキシング・エンジニア：小野 良太 日本放送協会
- アシスタント・エンジニア：藤本 直樹 日本放送協会
- アシスタント・エンジニア：三浦 真友子 日本放送協会
- アシスタント・エンジニア：岡田 正志 (株) SCI

・ 優秀賞

作品 「僕らの音楽」より「島人ぬ宝」 しまんちゆ たから 今井 絵理子・島袋 寛子

- 株式会社フジテレビジョン HDTV stereo 2014年8月15日放送
- ミキシング・エンジニア：中村 峰子 (株) フジテレビジョン
- セカンド・エンジニア：鹿又 健一 (株) フジテレビジョン
- セカンド・エンジニア：松田 勝治 (株) サンフォニックス
- 音声フロアチーフ：白鳥 慎一郎 (株) サンフォニックス

☆ 部門G 「放送メディア」放送作品部門 応募総数6作品

「マルチ ch サラウンド」

・ 最優秀賞

作品「題名のない音楽会」より「キャンディード序曲」指揮：佐渡裕 演奏：東響

- 株式会社テレビ朝日 HDTV 5.1ch 2014年7月27日放送
- ミキシング・エンジニア：柳原 健司 (株) テイクシステムズ
- セカンド・エンジニア：須崎 泰道 (株) 日放
- セカンド・エンジニア：石松 千穂 (株) 日放

・ 優秀賞

作品 「プレミアムシアター」より「歌劇「死の都」第2幕」トルステン・ケール、ミーガン・ミラー、アントン・ケレミチェフ、山下牧子、他 指揮：ヤロスラフ・キズリンク 演奏：東響

- 日本放送協会 HDTV 5.1ch 2014年5月12日放送
- ミキシング・エンジニア：山縣 淳一 株式会社NHK メディアテクノロジー
- セカンド・エンジニア：篠 なほ子 株式会社ネオテック

☆ ベストフォーマー賞

作品「濱口 祐自 はまぐち ゆうじ フロム・カツウラ」より「ドクトル・Oのラグ」濱口 祐自

- 発売元：日本コロムビア(株) フォーマット：96/24

☆ 新人賞

作品 「贈り物」より「贈り物」 くまき あんり 熊木 杏里

- wandering note より発売 CD
- ミキシング・エンジニア：安達 義規 (株) ミキサーズラボ

作品 「LOVE SONGS」(WPCL-11998) より「思い出のレストラン」馬場 俊英

- (株) ワーナーミュージック・ジャパンより発売 CD
- ミキシング・エンジニア：小坂 康太郎 (株) ミキサーズラボ

7.2. 後援・協賛名義の使用承認

- CEATEC JAPAN 2014
- 第 20 回真空管オーディオフェア
- Inter BEE 2014
- オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ 2015
- 2014 楽器フェア
- 日本音響学会第 135 回技術講演会

8. オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売（定款第 4 条第 8 号）

- オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video 等の販売を行った。
 - ◇ 平成 26 年度販売数合計：148 枚
 - ◇ 主な内訳
 - CD-1 Audio Test 101 枚、DVD-V1 Audio Check (DVD) 14 枚、MLAS-1001~2 3 枚、COCQ-84695 1 枚、COGQ-28(SACD) 1 枚、AES 001~003 2 組、QADS-1001 1 組、AD-1 オーディオチェックレコード 25 枚
- ハイレゾ音源の販売：
 - ◇ 平成 25 年 12 月 1 日に収録した音源を引き続き今年度も配信販売を行った。
 - ◇ 販売数（ダウンロード数）：625

9. 総務事項

9.1. 通常総会

- 日時：平成 26 年 6 月 5 日（木） 13：30～15：00
- 場所：東京中央区 銀座ブロッサム
- 出席者数：正会員 275 名（委任状出席者を含む）
- 議事：
 - ◇ 第 1 号議案：平成 25 年度事業報告・決算報告並びに監事監査の承認を求める件
 - ◇ 第 2 号議案：平成 26 年度事業計画・収支予算について
 - ◇ 第 3 号議案：事務所移転に伴う定款変更の承認を求める件
 - ◇ 第 4 号議案役員改選の承認を求める件

9.2. 理事会及び運営会議

- 第 1 回 日時：平成 26 年 5 月 21 日（水）15:00～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 13 名、監事 2 名
- 第 2 回 日時：平成 26 年 6 月 5 日（木）15:00～15:30
場所：中央区銀座 銀座ブロッサム 出席者数：理事本人 16 名、監事 2 名
- 第 3 回 日時：平成 26 年 9 月 10 日（水）15:00～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 12 名、監事 2 名
- 第 4 回 日時：平成 26 年 12 月 5 日（金）13:00～13:50

- 場所：目黒 雅叙園「シグナス」の間 出席者数：理事本人 16 名、監事 1 名
- 第 5 回 日時：平成 27 年 2 月 4 日（水）15:00～18:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 14 名、監事 1 名
 - 第 6 回 日時：平成 26 年 3 月 25 日（水）15:00～18:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 14 名、監事 1 名

9.3. 役員推薦委員会（役員改選に向けた役員案を理事会に提案。 齋藤 重正 委員長ほか 4 名）

- 平成 26 年 5 月 16 日（金） 17:00～19:00 参加者：4 名

9.4. 監事監査

- 日時：平成 26 年 5 月 14 日（水）13:00～15:00
- 場所：日本オーディオ協会会議室

9.5. 登記事項：

- 平成 26 年 7 月 11 日 役員登記

9.6. 平成 26 年度の会員数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

- 法人会員 正：36 社、7 団体、賛助：22 社 合計 58 社、7 団体
- 個人会員 一般：227 名、シニア：100 名、会友：44 名 合計 371 名

9.7. 平成 26 年度の役員数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

- 理事 19 名（うち会長兼専務理事 1 名、副会長 4 名）、監事 2 名

9.8. 平成 26 年度の職員数（平成 27 年 3 月 31 日現在）：

- 5 名

9.9. 表彰等

- 音の匠：
東海大学創造科学技術研究機構・特任講師・理学博士 森阪 匡通様氏
- 日本プロ音楽録音賞：
◇ 最優秀賞 7 作品、優秀賞 8 作品、ベストパフォーマー賞 1 作品、新人賞 2 作品を表彰

9.10. 音の日のつどい

- 日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN との共同で実施
◇ 平成 26 年 12 月 5 日（金）目黒雅叙園
◇ 参加 200 名

以上

平成27年6月4日

平成26年度 収支計算書
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)
(平成27年3月)

収入の部

(単位:千円)

	平成26年度収入予算				平成26年度収入実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 会費(含入金会) (1)	38,597	38,597			41,713	41,713			+3,116	+3,116		
2. 事業収入	31,040	1,205	1,435	28,400	32,942	1,728	390	30,824	+1,902	+523	-1,045	+2,424
普及・啓発 (2)	850	850			958	958			+108	+108		
評価用音源	355	355			770	770			+415	+415		
人材の育成 (3)	1,435		1,435		390		390		-1,045	+0	-1,045	
展示会(音展)	28,400			28,400	30,824			30,824	+2,424	+0		+2,424
3. その他収入 (4)	900	900			1,379	1,379			+479	+479		
4. 商標権等売却収入 (5)					966	966			+966	+966		
5 当期収入計(1~4)	70,537	40,702	1,435	28,400	77,000	45,786	390	30,824	+6,463	+5,084	-1,045	+2,424

(注記) (1) 法人会員 正:36社、7団体、賛助22社、個人会員 一般:227名、シニア:100名、会友:44名 合計371名 (平成27年3月31日現在)

(2) 音の日会費、音の日行事分担当

(3) デジタルホームシアターセミナー受講料・教本収入

(4) サラウンドHP協力金(JEITA)他

(5) ハイレゾロゴに係る商標デザイン料・登録料等パナソニック特許渡収入

支出の部

	平成26年度支出予算				平成26年度支出実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 事業支出	36,637	6,965	1,332	28,340	39,057	6,828	530	31,699	+2,420	-137	-802	+3,359
調査・研究												
普及・啓発 (1)	4,000	4,000			3,174	3,174			-826	-826		
基準の作成(音源) (2)	215	215			573	573			+358	+358		
情報の収集・提供 (3)	1,850	1,850			2,181	2,181			+331	+331		
展示会の開催(音展)	28,340			28,340	31,699			31,699	+3,359	+0		+3,359
人材の育成 (5)	1,332		1,332		530		530		-802	+0	-802	
対外交流 (6)	900	900			900	900			+0	+0		
2. 管理費 (7)	1,700	1,700			2,103	2,103			+403	+403		
3. 事業管理費 (8)	31,885	31,885			34,563	34,563			+2,678	+2,678		
4. 商標権支出 (9)					540	540			+540	+540		
5 当期支出計(1~4)	70,222	40,550	1,332	28,340	76,263	44,034	530	31,699	+6,041	+3,484	-802	+3,359

収支バランス

6. 当期収支差額	+315	+152	+103	+60	+737	+1,752	-140	-875	+422	+1,600	-243	-935
7. 前期収支差額	+6,843	+27,180	-2,855	-17,482	+6,843	+27,180	-2,855	-17,482				
8. 次期繰越収支差額	+7,158	+27,332	-2,752	-17,422	+7,580	+28,932	-2,995	-18,357				

(注記) (1) 音の日行事、音のサロン、DHT委員会、活動費用

(2) オーディオシステム評価用ディスク制作、仕入代金等

(3) JASジャーナル、JASホームページ運用費、ホームシアターサウンドWeb運用費等

(4) 音展(オーディオ・ホームシアター展)

(5) デジタルホームシアターセミナー資格認定講座

(6) 他団体への協力金(日本プロ音楽録音賞運営委員会、デジタルコンテンツ協会、モバイルオーディオ推進協議会、インテリア産業協会)

(7) 協会一般事業の管理経費(含む総会)

(8) 一般会計事業に伴う固定的経費

(9) ハイレゾロゴ商標権支出